

## 令和 4 年度 性の多様性アンケートまとめ

## 1 実施状況

月日	イベント (場所)	回答数
5.29	元気フェスタ (市民総合センター)	36
6.25	LUSH とのコラボイベント (イオンモールむさし村山内)	57
11.12	村山デエダラまつり (榎一丁目市有地)	154
	計	247

## 2 設問

## ①年代

～9歳 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 90代～

## ②性別

男 女 どちらでもない 答えたくない

## ③お住まい

武蔵村山市 立川市 東大和市 瑞穂町 その他 ( 区市町村)

④それぞれの性の多様性について聞いたことがあるものに○ (マル) 、知っているものに◎ (ニジュウマル) をつけてください。

レズビアン ゲイ バイセクシュアル トランスジェンダー クエスチョニング アセクシャル  
X (エックス) ジェンダー パンセクシャル LGBTQ ノンバイナリー FtM (エフティーエム)  
セクシュアルマイノリティ

⑤自分の周りに当事者がいたらどのように思いますか。

家族／友人／職場・学校

受入れられる／理解はできるが、受入れることはできない／絶対に受入れられない／関心がない・関係がない

⑥社会全体における性の多様性について理解は進んでいると思いますか。

理解が進んでいる 多少理解が進んでいる あまり理解は進んでいない 理解は進んでいない  
分からない

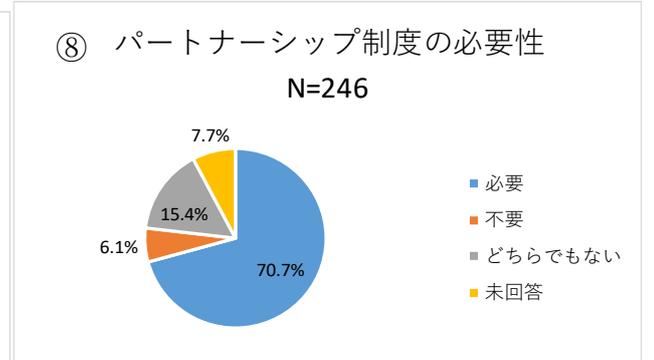
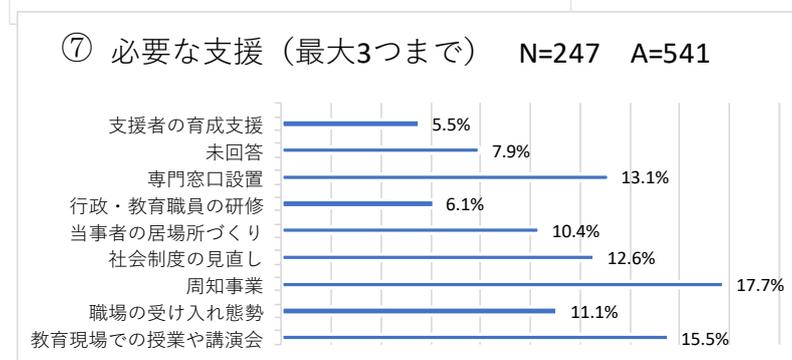
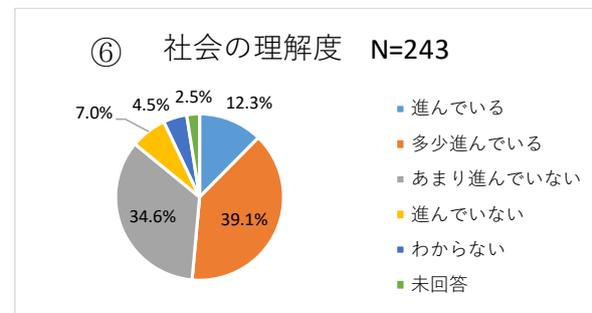
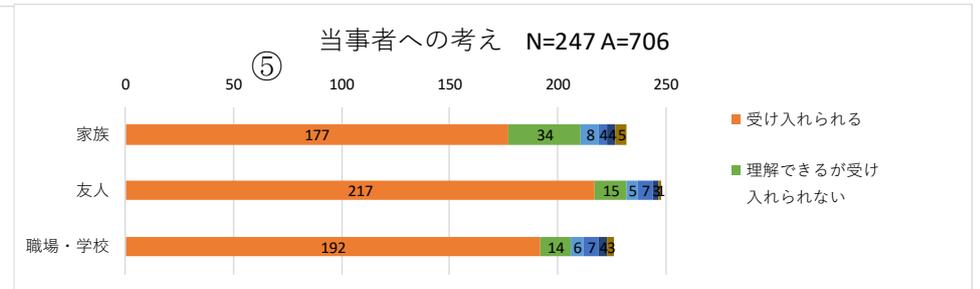
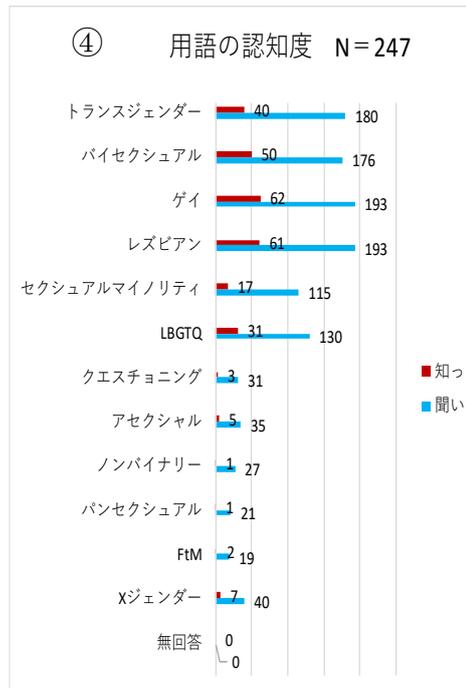
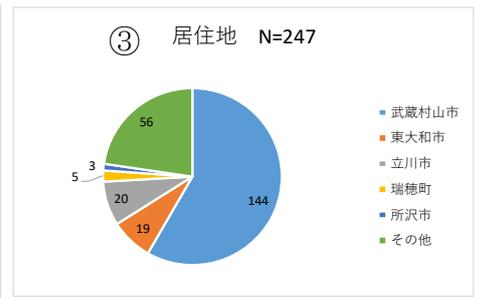
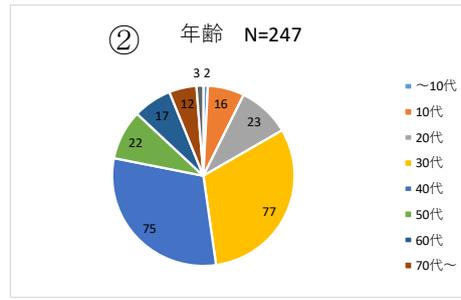
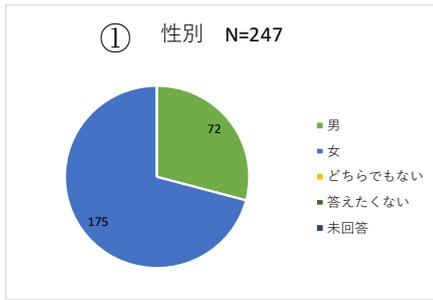
⑦性の多様性、LGBT支援としてどのような支援が必要だと思いますか。必要だと思う支援 (最大3つまで) に○をつけてください。

周知するための勉強会、イベント、意識調査等 支援者 (アライ) の育成、支援団体への支援  
職場の受け入れ体制 当事者の居場所づくり 行政職員や教育機関職員の研修  
行政主体のポスター掲示、市報掲載など 教育現場での性の多様性についての授業や講演会  
社会制度の見直し (パートナーシップ条例、証明書など) 専門窓口の設置 その他

⑧2015年の東京の渋谷区と世田谷区からパートナーシップ制度がどんどん広がり、現在では200以上の自治体でパートナーシップ制度が施行されています。あなたは、パートナーシップ制度は必要だと思いますか。

必要 不要 どちらでもない

### 3 回答



① 30代 ≒ 31%、40代 ≒ 30%、その他の年代 ≒ 39%

② 女性 ≒ 71%、男性 ≒ 29%

③ 市内 ≒ 58%、近隣市町 ≒ 19%、その他 ≒ 23%

④ 「L・G・B・T」の用語認知度は高い

⑤ 当事者への肯定的な考え方は、自分との関係の深さに反比例。家族が当事者であることを想定した設問に対し、約18%の人が「受け入れられない」と回答。

⑥ 「(やや) 進んでいる」 ≒ 51%、「(あまり) 進んでいない」 ≒ 41%

⑦ 周知事業 ≒ 18%、教育現場での授業や教育 ≒ 16%、専門窓口設置 ≒ 13%、社会制度の見直し ≒ 13%

⑧ 必要 ≒ 71%、不要 ≒ 6%